幼　稚　園　経　営

教育目標

温かいつながりの中で心豊かでたくましく生き抜く子どもの育成

『めざす幼児像』

- ❖よく遊ぶ子　　見つけ、考え、表現する
- ❖つながる子　　人やふるさととつながる
- ❖元気な子　　心もからだも健やか

人権・同和教育目標

人権・同和教育を全ての教育活動の基底に据えて取り組み、人権意識を高め差別をなくす実践力を身につける。

「基本的な生活習慣や社会生活に必要な習慣と態度を身につけ、温かい心をもちたくましく生きる幼児の育成」

- ・自分の思いを表し、自分で考えて行動できる幼児
- ・めあてや希望をもち、困難なことにも繰り返し取り組もうとする幼児
- ・生命を慈しみ、相手の立場に立って考えることができる幼児

園経営の重点

〇子どもたちの自立と集団生活への順応をめざし、子どもが育つ幼稚園経営の実現を図る。

〇コミュニティスクールのよさをいかし、家庭や地域と連携しながら教育活動に取り組む幼稚園経営の実現を図る。

⑴ 個に応じたきめ細やかな指導

◇一人ひとりの幼児を見つめ、幼児の発達、個性、身体等あらゆる特性に配慮した保育に努める。

⑵ 小学校や地域と連携した教育活動の展開

◇家庭や地域社会、小学校との連携を密にし、相互に協力し合い教育の推進を図ると共に、恵まれた自然や素材を生かし、直接体験活動を通して豊かな感性を育む。

◇幼小で子どもの育ちがつながるよう、教育課程を工夫する。

⑶ 幼稚園から地域への方向性をもった教育活動の展開

◇地域貢献を視野に入れ、幼稚園から地域へ働きかける保育活動を推進する。

⑷ 読書活動の推進

◇幼児期における読書の大切さを踏まえ、充実した読書活動を推進する。

◇保護者への啓発（読み聞かせボランティアさんの活用）

⑸ ふるまいの向上

◇場をわきまえ、相手を尊重したふるまいを知る。

◇時間・あいさつ、へんじ・くつそろえ

⑹ 体力の向上

◇健康安全指導を第一に、明るく元気な幼児の育成に努める。

◇外遊びや運動の機会（外部講師の活用）を奨励する。

◇メディア（テレビ・ゲーム・インターネット等）との適切なつき合い方

◇規則正しい生活（起床・就寝時刻）

◇食育の推進

本園の教育

教育目標

温かいつながりの中で、心豊かでたくましく生き抜く子どもの育成

人権・同和教育目標

基本的な生活習慣や社会生活に必要な習慣と態度を身につけ、
温かい心をもち、たくましく生きる幼児の育成

めざす幼児像

元気な子 心もからだも健やか	つながる子 人やふるさととつながる	よく遊ぶ子 見つけ、考え、表現する

経営の重点と方策

健全な心身の基礎を育てる活動	人間尊重の精神を身に付け、やさしい心を育てる活動	豊かな創造性の芽生えを育てる活動

身体

○「体」づくり
- 「げんきタイム」の継続
  （体操、マラソン、運動遊び、集団遊び）
- 園外保育活動
  （歩く体験）

○「食育」の推進
- 栽培活動
  （米・いも・野菜）
- クッキング
- たけのこ山での活動
  （探検・たけのこ掘り）

人・文化・自然

○幼稚園の良さを活かした活動
- 豊かな地域環境
  （仏谷川・たけのこ山・田畑　他）
- コミュニティスクールとしての良さ
  （小学生とのふれあい・施設利用・職員間の連携・共催の事業）

○地域の伝統・芸能に触れる活動
- 獅子舞・神楽の見学、獅子舞の活動

○地域の人との交流活動
- ミニディ・未就園児
  （童々クラブ・さくらんぼ教室　他）
- 読み聞かせ
- ２園交流（朝山幼稚園との交流活動の充実）

遊び

○興味・関心を引き出し、遊び込める保育の推進
- 五感を通した直接体験
- 主体的伝え合いの体験
  （話す、聞く、話し合う）

○コミュニティスクールを活かした活動
（小学校への接続を考えた生活）
- 交流活動
  １年生とのふれあい活動、
  ５年生との田んぼの活動等
  各学年との交流活動
  授業見学、参加・交流給食
  集会への参加など
  （親しんでかかわる、真似る、見通しをもつ体験）

学級経営の充実・幼児一人一人の実態把握・発達の課題を捉え、援助のあり方を探る
～園児同士のかかわりを深めるための取り組み・物的、空間的環境の構成～

学級の努力目標		
	年少 もも組	○教師や友達に親しみをもち、思ったことや感じたことを自分なりに表現する。 ○身近な環境に興味や関心をもち、自分のしたい遊びを見付けて楽しむ。 ○身の回りのことを自分でしたり、集団生活に必要なきまりを守ろうとしたりする。
	年中 つくし組	○身近な環境に関心をもってかかわり、自分のしたい遊びを存分に楽しむ。 ○自分の思いや考えを素直に伝え、相手の気持ちにも気付く。 ○園生活の流れやきまりが分かり、日常生活に必要な習慣や態度を身に付ける。
	年長 たけのこ組	○自分のめあてに向かって根気強く挑戦したり、繰り返し試したりしながら遊ぶ。 ○友達の思いを最後まで聞いたり、考えを出し合ったりしながら、共にやり遂げる喜びを味わう。 ○生活の見通しを持ち、友達と協力したり、役割分担をしたりしながら、自分たちで遊びや生活を進める充実感や満足感を味わう。

＜家庭との連携＞
○基本的生活習慣の自立（生活リズム・あいさつの定着）　○親子読書の推進
○子ども理解（便りの発行・懇談・保育公開）　○個人懇談

＜地域・コミュニティセンターとの連携＞
○コミュニティセンターとの合同・共催行事